



《東京都中学校長会》 平成29年11月14日（火）

11月会長だより（区市等校長会長連絡会）

会長 岩永 章

1 挨拶

10月18日（水）～20日（金）に開催された「中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会」を無事終了することができ、衷心よりお礼申し上げます。大会の運営に際し、副会長・部長・副部長・部員・地区校長会の皆様には、多大なるご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。平成26年12月18日に全日中の先生方と準備会を立ち上げてからほぼ3年の月日が瞬く間に過ぎ、大会の3日間が一瞬に終わってしまったという感覚です。

今回の大会運営では、9月に衆議院の解散があり、主賓のご出席が大会直前まで定まらないという厳しい状況となり、司会原稿や挨拶文を何度も書き直すという事態になりました。こうした状況下でも、大会運営に支障をきたさなかったのは、多くの先生方のご配慮と連携の賜物と受け止めています。また、地区校長会の先生方が総出で前日の資料や会場の準備、当日の受付・道案内や昼食配布などに気持ちよくご協力いただいたことも、大会の成功につながったものと思います。他県の先生方からは「雨天の中でも道路に立ち、とても親切に対応していただき、おもてなしの気持ちが伝わってきた。」とのお言葉をいただきました。開催前に役員会では、自然な形でのおもてなしができれば、という思いがあり、それが会員の先生方のお力で、さりげなく表現できたことを大変嬉しく思っています。今回の大会を通して感じたことは、東京都中学校長会組織の絆の強さ、お一人おひとりの先生方の善意、そして、人と人との縁の大切さです。皆様方のお力の総和が、大会を成功に導いたと自負しています。

今、大会が終了し、安堵しているところですが、これで、大会がすべて終了したわけではありません。教育対策部を中心に報告書の作成、全国への配布等の作業が残っています。また、大会運営に関するアンケート7項目の集計速報値では、「よい・おおむね良い」と回答した割合の平均が90%となっていました。この結果を謙虚に受け止め反省点や課題を明確にし、10年後の80年記念大会に向け記録として残していきたいと思えます。役員会としても次回大会開催に向けた各種資料の収集・整理という大切な仕事が残っています。ここで気を緩めることなく、完了するまで丁寧な仕事をしていきたいと思えます。ご支援をお願いします。

2 当面の課題

(1) 東京大会の終結に向けた今後の処理

進行管理表による今後の計画では、①大会報告書の作成（1月末完成）、全国への発送（2月）、②各種資料の収集・整理（1月末の鳥取県への引継までにデータベース化）、③鳥取県引継資料取りまとめ（紙ベース）、④進行管理表の完成などの仕事が残っています。そこで、下記の分担に沿ってご協力をお願いします。

- ① 大会報告書作成・・・教育対策部
- ② 各種資料の収集・整理・・・総務部（各副会長・部長が資料を整理し、総務部へ提供）
- ③ 引継資料の取りまとめ・・・部長（鳥取県への引継資料として持参）
- ④ 進行管理表の完成・・・副会長（11月中に各副会長集約、12月中に岩永が集約）

3 連絡・報告事

(1) 中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会皇族・主賓へのお礼

10月31日(金)全日中直田会長と共に、東宮御所にお伺いし、東宮職にお目にかかり、東京大会への皇太子同妃両殿下のご台臨のお礼を申し上げてきました。11月7日(火)には台東区役所を訪ね、区長並びに教育長へのお礼を申し上げてきたところです。11月8日(水)には、東久留米市直原教育長にお礼に行ってきました。11月15日(水)に日の出町教育長にお礼に伺う予定です。

(2) 平成30年度東京部中学校長会研究大会・総会の準備開始

平成30年4月26日(木)に立川市で開催予定の東京都中学校長会総会・研究大会に向け、12月11日(月)に拡大実行委員会が行われます。立川市をはじめ第10ブロックの先生方にはご負担をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願ひします。

(3) 大都市中学校長会連絡協議会仙台大会の報告

11月9・10日に仙台市において大都市中学校長会連絡協議会仙台大会が開催され、9名の校長が参加しました。東京都からは常盤前会長が「働き方改革」をテーマに、東京都並びに立川市の取組を報告しました。その他にも大都市が抱える共通の課題について「学校経営の視点」、「教育指導上の視点」、「大都市特有の諸課題解決の視点」で3分科会に分かれ、率直な意見交換を行ってきました。

特に今年度は「校務の適正化」を重点課題とし、各都市から様々な実践報告や改善上の課題に関する報告がなされました。常盤会長の報告に続いて東京都から、中学校長会が1学期末に行った「働き方改革」に関する意見集約を報告し、各都市から先進的な取り組みであるとの声をいただきました。しかしながら、改革の道半ばであり、これからも都教委や各地教委への積極的な働きかけが重要であることは変わりありません。

各都市からも「働き方改革」の報告があり、多くの都市で教職員の出退勤管理をパソコンで行っていることが分かりました。各都市の共通の課題として、予算を伴う改善が極めて難しい現状が明らかになり、本会としても現状の改善を一步でも進める気概をもって対応してまいります。